8 月 27 日（金）平和学習週間の話

校長先生より

児童のみなさん、おはようございます。今日は平和集会ということで、全校の皆さんにお話をさせてもらいたいと思います。

さて、毎年 8 月 6 日は広島に、8 月 9 日は長崎に、原子爆弾が投下された日。8 月 15 日は第 2 次世界大戦が終わった日として、亡くなった方々に対して安らかに眠っていただきたいという気持ちと、「二度と戦争はしない」という気持ちをもって日本国中の多くの人々がその日を過ごしています。今日は 8 月 27 日ですが、そのことも是非知っておいてほしいと思います。

突然ですが、みなさんに質問です。「二度と戦争はしない」「戦争のない平和な世界」が続いていくようにするには、どうすればよいのでしょうか。この問題は、世界中の人たちが一人ひとり一生懸命考えなければ、ずっと解決しないまま続いていく問題だと思っています。みなさんに考えてもらう前に、校長先生も一人の人間として、考えてみました。

みなさん少し想像してみてください。例えば、自分の周りにいる仲間とみんなそれぞれが仲良しだとします。「仲良し」というのは、問題があっても「自分のことだけでなく相手のことも考えて話し合いで解決できる人同士」だと思ってください。もしも世界中の人が、自分の周りにいる仲間とみんなそれぞれ「仲良し」だったとしたら、戦争は少なくならないでしょうか。

もう一つ考えてみました。世界中には、日本人以外にも韓国人もいれば中国人、ロシア人、モンゴル人、アメリカ人、イギリス人など２００か国くらいのさまざまな国に住む人々がいます。この呼び名は国がもとになっています。それを同じ地球に住む人々ということで「地球人」としてみてはどうでしょうか。もし「地球人」と呼ぶようになったら、お互いが地球に住む仲間同士なので、自分の国のことだけを考えたり、他の国が困るようなことをしようとしたりすることが少なくならないでしょうか。

みなさんならどんな方法が頭に思い浮かぶでしょうか。考えてみてください。
今すぐに「戦争のない平和な世界」にはならないかもしれません。今でも戦争に苦しむ人々が世界中にいます。もしみんなが考えること・行動することをあきらめてしまったとしたら、いつもどこかで苦しむ人がいることに変わりはありません。

みなさん一人ひとりが、自分で考えたことを周りの人に伝えたり、考えたことをまずは自分から行動し始めたりすることで、少しずつ自分の周りから変わっていき、世界中の人が変わっていく。そしてその先に「戦争のない平和な世界」が現れる。そんな日が来るようにこれから考え、行動してみませんか。みなさんがこれから生きる「未来の世界」のために。

これで校長先生の話をおわります。